

あたら、き大地



あなたと組合を結ぶ情報のかけ橋

1988年 11月号 No. 29

「ウディグランドフェア'88」を当団地で 第4回ウッドフェアと併わせて盛大に開催!

(財)日本木材備蓄機構と(社)大阪府木材連合会主催の「第1回地域優良木工品クラフト全国展」が林野庁、大阪府、美原町などの後援を受け、去る10月8日から16日までの9日間、当組合が主管してウッドリーム大阪で開催された。

開会式は、日本木材備蓄機構の小笠原理事長の挨拶で始まり当協同組合成瀬理事長も主管団体を代表して、「全国で初



《開会式で挨拶する成瀬理事長》

めてのイベントであり実のあるフェアにしたい。先月急逝した故中川藤一氏の熱意を今後とも生かして行きたい。……」との挨拶があり、続いて来賓の林野庁松田堯長

官、大阪府柳庸夫副知事、美原町山本巖町長より祝辞がのべられ、このイベントを通じ木材需要の拡大と地域の活性化を期待することばが贈られた。

オープニングのテープカットの後、ウッドリーム南側緑化ゾーンにおいて「センノ木」の記念植樹が行われ、開会のセレモニーが終了した。

またこれと併行して協同組合主催の第



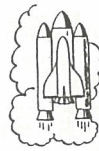
《記念植樹風景》

2千名近くが参列し、遺徳と功績を偲んだ。式は故人が所属していた日本キリスト教会豊中央教会の五十嵐喜和牧師の司会で始まり、参列者一同が故人の愛唱していた讚美歌を合唱した。

葬儀委員長の橋本暢良大阪府木連会長、副委員長の成瀬良彦協同組合理事長、社員代表の丸山竜男氏が弔辞を述べ、参列者の涙を誘った。続いて喪主の中川勝弘中川木材店社長の挨拶があったあと、参列者が遺影に花を添えて別れを惜しんだ。

故人は、昭和37年6月協同組合設立と同時に副理事長として、組合運営に携わり、56年5月からは理事長として、組合事業の充実に卓越したアイデアと実行力で尽力される等、当協同組合の発展に寄与されただけでなく、全国的にも木材業界のために活躍され、その急逝が惜しまれている。

ここに慎んで、哀悼の意を捧げるものである。



理事長就任にあたって

理事長 成瀬良彦



理事長就任にあたって、一言ご挨拶申し上げます。

過日の第1回地域優良木工品・クラフト全国展並びに第4回ウッドフェアは組合員様のご理解とご協力のお蔭をもちまして無事成功裡に終了できましたことを厚くお礼申し上げます。

去る、9月5日、木材団地を愛し、又木材に造詣が深く集団指導にも格別の情熱を注がれ、木材団地の活性化に尽力されてました中川理事長が急逝されたことは、木材団地ばかりでなく木材業界にとっても大きな損失で、正に巨星落つのが感じがいたしました、惜しんでも惜しみきれない気持ちで一ぱいです。

今回、その後任として私が理事長という大役をおうせつかったわけですが、年も若く、浅学非才の身でございますので、皆様にご満足していただけない面が多々あるかと思いますが、私は私なりに木材団地を愛し、情熱を注ぎこの任務を誠心誠意努力し、まっとうしたいと思う所存でございます。

私の会社も今、方向転換しつつあり数年後には何とか一人前の会社になりたいと思っておりますので、理事長職としては、中川前理事長が残して下さった多大な功績を汚さぬよう、今までの事業を継承しつつ、短期全力投球で行きたいと考えておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

団地運営にあたっては、

- (1) 財務の健全化と中長期の利益計画を立てる。
- (2) 経理部門に相互牽制制度に基づく管理システムの導入。

の2点を目標にし、今、組合が当面抱えている



- (1) 再売買予約の仮登記契約。
- (2) 高度化補完事業の推進。
- (3) 大末建設の土地引渡問題。
- (4) 第2団地の建設。

の4つの大きな問題点については特別委員会を設け、皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、中川前理事長に相変りませず一層のご協力・ご指導をお願い申し上げます。

< 理事会の議事録から >



☆ 林野庁職員の研修受入れについて

林野庁からの要請で、同庁職員の木材流通に関する実務研修を当団地で引き受けることになり、10月1日から12月28日までの約3カ月間組合員企業8社が分担して、これを受け入れることとなった。

☆ 組合員に対する各種代金の請求方法の変更について

このたび組合事務局の事務合理化の一環として、組合員に対する各請求事務をコンピューター化し、これによって従来の“3カ月毎の請求”（木乾及び給油代金は毎月請求）を来年1月より“毎月請求”の方法に変更し、しかも各組合員の支払時期を勘案して“20日締、翌月10日払”又は“月末締、翌月20日払”のいずれかの支払方法に応じていくこととなった。

☆ Cグランドにおける食堂施設の設置について

組合員のための福利厚生施設の一環として、かねてよりCグランドに建設を計画していた食堂施設について、このたびその事業の運営を懶グルメ杵屋（注）に委託することが決まった。

（注）懶グルメ杵屋について

| | |
|--------|------------------|
| （本 社） | 大阪市住之江区北加賀屋3-4-7 |
| （事業内容） | 和洋食 |
| （資本金） | 3億4910万円 |
| （年 商） | 155億円 |
| （従業員数） | 4000人 |



☆ S住宅地（共同住宅地）の売却について

今年度に売却を予定していたS住宅地の元共同住宅地186坪を組合員又はその紹介者に入札形式で売却処分することとなった。なお入札日は来る11月25日で詳細については別途文書で案内される。

☆ ウッドリーム及び郵便局の外壁塗装について

建築後3年余りを経過したウッドリーム及び郵便局の建物について、今回外観を美化するため、外壁の塗装工事を行うことになった。工事費は約100万円の予定。

☆ 米松丸太のモニュメント(木魂)の展示について

大建工業(株)(ウッドリーム常設展示企業)の前社長が大切に保管し、社内で展示されていた米松丸太のモニュメント(木魂)(京都芸大 山崎教授の作品)がこのたび当団地に無償で提供されることになったため、これをウッドリームの庭園に展示することが決まった。なお展示のため、設置費用として建物及び基礎工事として約200万円が見込まれる。

郵便局だより



木材団地簡易郵便局、開局3周年感謝月間をおえて

当郵便局では開局3周年を記念し、また日頃の感謝をこめて、去る9月1日~30日の間を感謝月間とし、ご利用の皆様に対して謝恩サービスを行いました。

期間中は平常月の約2割増しの利用客があり、なかでも定額貯金は約2.7倍の増加となり、お蔭様で過去最高の業績をあげることができました。「近くて便利な郵便局」として今後とも精々ご利用いただきますようお願いいたします。

“木栄会だより”



☆ 第12回工場見学会を実施

去る9月19日、当会情報交流委員会の企画による表記見学会が実施され、今回も異業種交流の一環として大阪富田林工業団地(協)とその組合員企業、米沢器機工業(株)、阪本印刷(株)の3カ所を約2時間に渡って見学した。

大阪富田林工業団地(協)[昭和56年設立、組合員19社、出資金8,000万円]は富田林中小企業団地を形成する4つの協同組合のうちの1つで異業種集団の組合であり、米沢器機工業(株)は医療機器の製造、阪本印刷(株)はラベル・ポスター等の各種印刷加工を行っているが、両企業共コンピューターを駆使した最新生産設備を備え、省人化体制をとっており、また工場作業内にも冷暖房を完備し作業能率のアップ・製品管理につとめている等々、参加者一同にとっては見るべきものが多い見学会であった。なおこの見学会は12回目を数えるが、団地外での企画は今回が初めてで、今後も団地外にも目を向けた企画を検討している。

☆ 今後の事業予定

・安全運転講習会

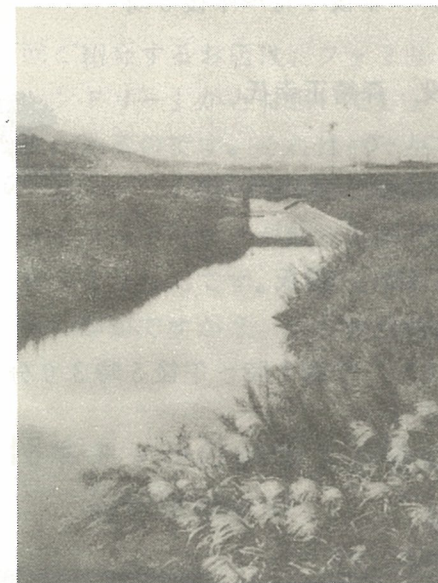
開催日 昭和63年12月2日(金) 18時より
開催場所 ウッドリーム大阪研修室
開催内容 研修ビデオ・講話



・忘年会

開催日 昭和63年12月8日(木) 18時30分より
開催場所 うおしげ(堺市福田)

地域あれこれ 5



斎藤茂吉がドナウ川の源流を訪れた話は有名であるが、石川の源流は滝畑四十八滝のさらにその奥の岩湧山系である。東の金剛山地と西の羽曳野丘陵との間を北流して、柏原の安堂で大和川に合流するその流域は、古代渡来人の好んで定住した土地であった。

その文化を受け継いでできた万葉集の巻第二に、人麿の妻の依羅娘子(よさみのおとめ)の人麿死をいたんで作った歌が二首ある。

今日今日と我が待つ君は石川のかひに交りてありと言はずやも(224)

ただの会ひは会ひかつましじ石川に雲立ち渡れ見つつ偲はむ(225)

がそれで、この二首を詠んだとき依羅娘子はどこにいて、人麿はどこで死んだのだろうか。

依羅とは地名で、恐らく河内国丹比郡依羅(今の住吉区我孫子の依羅小学校方面)を指し、娘子はその出身だったと思われる(丹比氏の縁で二人は結ばれたのだろう)。娘子は夫の任地である石見国ではなく、歌にある石川上空の雲が見える土地、つまり生国の河内国にいたかと推察される。

石川合流点より以東の大和川は、すぐに亀の瀬の峡谷域となっているが、ここは有名な地滑り地帯であって、関西本線のトンネルを潰したこともある。人麿は石見国より合流点付近まで帰ってきたとき、たまたま起った地滑りに遭って、亀の瀬付近にあったかもしれない亀山で死んだのではあるまいか。(田中繁男・記)

「ウッドリーム大阪」だより

☆ ウッドリーム大阪装い新たに……

築後、まる3年を経過したウッドリーム大阪の外壁塗装工事が去る9月中旬に行われ、色あざやかな装いとなりました。

また、さきの第一回地域優良木工品・クラフト全国展の入賞作品の中から、林野庁長官賞「ゆらっきんぐ」（奈良県集成材工業協同組合）、同賞「森のさえずり」（三浦木地）、全森連会長賞「おいでニャンコ」（岩亀民芸研究所）、木材需要拡大中央協議会長賞「BMW 328」（大阪芸術大学芸術計画科）の4作品が作者のご好意で「ウッドリーム大阪」へ寄贈され展示されております。

是非、一度ご見学いただき、その素晴らしさをご認識下さい。

☆ 「ウッドリーム大阪」の行事のご案内

・木材知識講習会

開催日時 昭和63年11月29日（火） 午後1時～午後5時

内 容 「増改築ビジネス」について

㈱近畿ハイム 代表取締役 森崎正幸氏

「複合床板の新しい性能」について

朝日ウッドテック㈱ 商品部長 武田邦夫氏

「新しい木質構造材」について

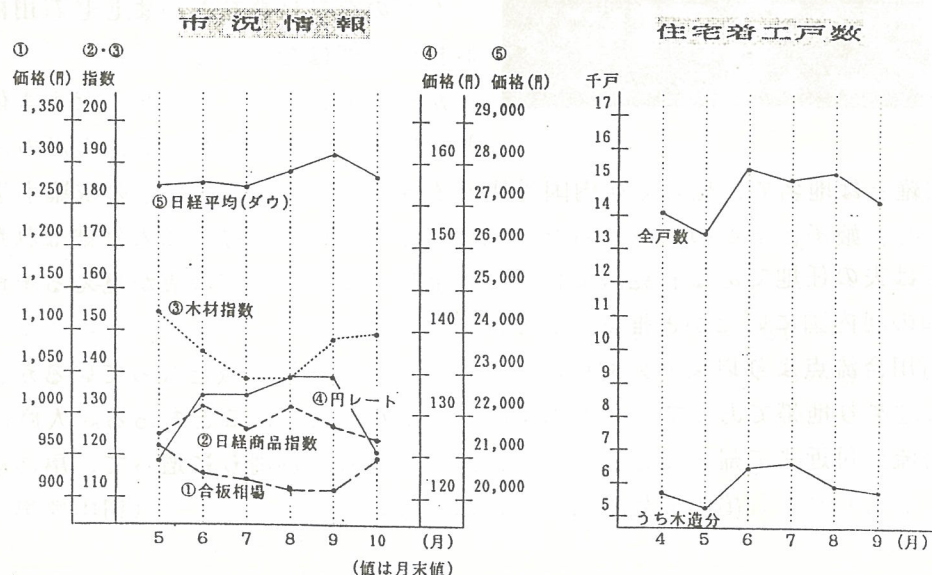
大鹿振興㈱ 建材材料部 辻 健氏

・しめ縄づくり講習会

開催日時 昭和63年12月3日（土） 午後1時～午後5時30分

内 容 「しめ縄づくり」について

わら細工師 上野 弘氏



【組合員企業の紹介シリーズ】

「うちの会社」

(その28)

中畑木材㈱社長 中畑 安伴



我社は昭和11年堺市七道東町にて創業。当団地には昭和56年に移転してまいりました。建築材、住器等府下の建築業者を対象に営業販売して居ります。

50周年を迎え一貫して何でも揃い、即納できることをモットーにしてまいりました。構内には製材工場、加工工場を設置し、対応の早さからユーザーには好評を得て居ります。

尚、将来の展望としては、木材拡販の目的として「プレカット」を導入し、その成果を期待し、前進的経営を致して居ります。

組合員の皆様、今後共よろしくお願い致します。

《周辺の“味”散歩》・・・その4



今回ご紹介するお店は、ファミリーレストランの「フレンドリー」です。なーんだ「フレンドリー」かとお思いでしょうが、ちょっとおもしろい企画でランチタイムサービスがあるのです。それはバイキング・スタイル形式で、和・洋・中華のおかず、焼飯・焼ソバ・白飯・パンのご飯類、それと新鮮で豊富な種類のサラダが食べ放題、その上クールドリンクが飲み放題で¥680（日・祭日¥780）ホットドリンクならば¥780なんです。一度おやすみの日にでも、ご家族とご一緒に「胃袋」の挑戦などはいかがですか？ なお事務局のMさんは、3回おかわりに行かれました！！

（磯口龍一郎・井上嘉織・記）

【団地ギャルの横顔】 その5

組合事務局 高岡 千鶴 さん (S40 6.2 生 双子座)



“毎週木曜日に美原町内のテニスクラブに通うのが今、一番の楽しみ…”と話される千鶴さんは、組合では郵便局の業務を担当されています。

スポーツはテニスのほかスキー、ゴルフもしてみたいとか。趣味はショッピングと久保田利伸のコンサートに行くことだそうです。好きな男性のタイプは、やさしくて、抱擁力があって楽しい人。安全地帯の玉置浩二が理想のタイプ。ちなみに結婚は25歳までにしたいとか。（只今、玉のこし募集中）

木材団地については、若いピチピチボーイがもっと沢山いたら毎日仕事が楽しいのに……といたずらっぽく笑っておられた。

【 団地内のうごき 】

◇ 組合並びに組合員の代表者変更について

去る、9月5日に急逝された中川藤一理事長（当協同組合理事長・㈱中川木材店社長）の後任に成瀬良彦副理事長（成瀬特殊木材㈱社長）が、10月31日付で当組合の理事長にまた、組合員㈱中川木材店の代表取締役社長には中川勝弘氏（㈱中川木材店副社長・故藤一氏長男）が夫々新しく就任された。

【 事務局だより 】

◇ 木材乾燥工場事務所新設について

予てより工事中であった木材乾燥工場の事務所が9月末に完成し、去る10月19日、利用組合員及び関係役員等を招き竣工披露が行われた。

◇ 受賞者のご紹介

この度、当協同組合役員 鈴木友夫氏（マルコマ㈱常務取締役）が全国室内内装工業協会の副会長を永年勤められ、業界発展の功勞により黄綬褒章を受賞された。

また、組合事務局 花井清総務課長が大阪府商工関係者表彰として知事表彰を受けられた。

◇ 代金等請求方法の変更について

従来組合事務局からの代金等請求方法は賦課金・汚水処理料・環境整備分担金等が3カ月毎、給油代金・木乾利用料等が毎月となっておりますが、事務局のコンピュータ化にともない、その請求方法を入念に検討（組合員全社にもこの件につき照会済み）してまいりました結果、来る昭和64年1月より、全ての請求科目を1カ月毎の請求に変更させていただくことになりましたのでご了承下さるよう、よろしくお願いたします。

なおその支払方法についても、やむをえない理由がある場合を除き、銀行振込でご送金いただきますよう併せてお願い申し上げます。

「 日頃の心がまえ 」

- (1) 「社内セールス」をおろそかにするな
- (2) 「まかせて安心」は社員の勲章
- (3) うまくいっている時が転換期



◇ 組合情報誌“あたらしき大地”のキャッチフレーズについて

予てより組合員の皆様より募集しておりました“あたらしき大地”のキャッチフレーズは、応募総数29点の中から下記作品が優秀作品として選ばれ、最優秀作品「あなたと組合を結ぶ情報のかけ橋」（考案者 組合事務局 田中義輝氏）が今月11月号よりキャッチフレーズとして登場、記載されることになった。

記

| | | |
|-------|-----------------|--------------|
| 最優秀作品 | あなたと組合を結ぶ情報のかけ橋 | 田中義輝氏（組合事務局） |
| 優秀作品 | 木に成る情報紙 | 五味明人氏（㈱紅中） |
| “ | 木材団地の飛翔をめざす情報紙 | 吉村諦一氏（組合事務局） |
| “ | 木材団地の活路を開く情報紙 | “ “ |
| “ | 読んでよし、知識を高める情報紙 | “ “ |
| 佳作 | 25点 | |

◇ 昭和64年度新年互礼会の開催について

恒例の新年互礼会について、昭和64年度は下記日程で開催される予定です。具体的な内容については追ってご案内いたします。

記

| | | |
|--------|---------------|-------|
| 開催日時 | 昭和64年1月11日（水） | 午後3時～ |
| 開催場所 | 「ウッドルーム大阪」研修室 | |
| スケジュール | 1. 新年互礼会 | |
| | 2. 新年講演会 | |
| | 講師 | 浜村 淳氏 |
| | 3. 祝賀パーティ | |



〔 新刊書紹介 〕

組合員推薦図書

- 松籟の如し 猪飼聖紀著 1500円 四海書房
熾烈な流通戦争のなかで、長崎屋グループを築き上げた岩田孝八氏のノンフィクション。
- 私達にはもっと欲しいモノがある 伊藤桂子著 1000円 PHP
今、消費をリードしているのは女性であり、男性には理解できないヒット商品開発のノウハウ等。
- 木材流通が変わる 中川藤一他2名共著 1800円 日本林業調査会発行
木材流通に変革が起っている。その変化の中でいかに対応すべきかを説く。
- トーキング・ストレート リー・アイアコッカ著 2000円 ダイヤモンド社
日本に対しても勿論、米国に対しても毒づく氏一流の論理を展開し、両国間の問題解決策を提示。
(推薦 椎 繁弘)

